

# 非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉  
〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)  
TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033  
URL・http://hikaku-osaka.jp/  
E-mail・hikakuosaka@hotmail.com  
hikaku-osaka1986@nifty.com

第182号 2017年11月1日

## ニュース



# ひろめよう『ヒバクシャ国際署名』

個人・団体・自治体の力をあわせて

九月二十日、大阪府下五市の原爆被害者の会会長が、「ヒバクシャ国際署名推進大阪連絡会」(仮称)の発足を呼びかけました。そのお一人の寝屋川市原爆被害者の会・山川美英会長に非核の会事務局がインタビューしました。

「事務局」 本日は大変ご苦勞様です。先日、記者クラブで「ヒバクシャ国際署名推進大阪連絡会」(仮称)のよびかけをされました。いま、この時に呼びかけられた思いをお聞かせいただけますか。

「山川」 世界中の多くの人々、日本の良識ある人々の長い闘いの中から、この七月に「核兵器禁止条約」が国連で採択されました。しかも、この一〇月六日には、ノーベル平和賞が「条約」採択に重要な役割を果たしたICANに贈られたことは更なる喜びで、大歓迎です。

この条約の採択は、画期的・歴史的なことであり、文字どおり核兵器を条約として違法とした意義は大きなものです。これまで多くの

人は「非人道的で破壊力の大きな兵器だが、有っても仕方ないので」と思わされてきたし、現に核兵器保有国は「国の安全保障としての核抑止力」を主張している。しかし、この条約は、核兵器の製造、使用、運搬など全面禁止し、核兵器をもつて脅すこと(抑止力)も禁止したものです。

アメリカをはじめ核の傘の下にある国々(日本も含む)を慌てさせています。「事務局」 唯一の被爆国・日本が会議にも参加しないし、条約に反対するという姿勢ですね。

「山川」 国の安全を核兵器に依存している国は、この条約に非難の声をあげ、反対しているが、いずれ核兵器は廃絶されると確信し

ています。世界中から核兵器をなくすには、今多くの人々が取り組んでいる



10・23「大阪連絡会」発足に向けての懇談会

ますが、許すことができませぬ。大阪でも、あらゆる

団体・個人、そして平和首長会議に参加する自治体の長など力を合わせて、この署名を促進するための連絡協議会(仮称)を設立するために力を注いでいるところですよ。幸いにも多くの団体の前向きな対応を頂き現在進行中です。署名促進に一層のご協力、ご援助を願って止みませぬ。「事務局」 本日はありがとうございました。

### 【非核五項目】

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争阻止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国はとされる非核三原則を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を防止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまででの合意にもとづいて国際連帯を強化する

宗教者と非核平和 No.4

# 「殺すなかれ」を生き残る

日本キリスト改革派  
千里山教会 牧師  
弓矢健児



「小さな抵抗」を拒んだ日本兵」という題の歌集が、岩波現代文庫から出版されています。この歌集の著者である渡部良三さんは、一九四四年学徒出陣で中国の部隊に配属されました。しかし、軍事教練の日々を送っていたある日、上等兵の命令によって、中国人捕虜を突き刺して殺す訓練を強制されます。しかし渡部さんはクリスチャンであったため、

「汝殺すなかれ」という聖書の教えに従って捕虜を突き刺すことを拒否します。その結果、渡部さんは要注意人物とされ、敗戦を迎えるまで軍隊の中で毎日、壮絶なリンチと差別を受けることになりました。

そうした苦難の中で、渡部さんは自分が経験した軍隊の実像を約七〇〇の歌に詠んで日本に持ち帰りました。その中に、「捕虜ひとり殺せぬ奴に何ができる」胸ぐら掴むのしり激し、「血を吐くも飲むもならざり殴られて口に溜まるを耐えて直立不動」という歌があります。渡部さんは軍隊の中で理不尽な迫害・リンチを受けながらも、信仰の良心に従って「殺すなかれ」を生きようとしたのです。戦争は狂気であり、あらゆる罪と不義の塊です。戦争に正義などありません。それ故、戦争を放棄し、二度と戦争をしないことを誓った日本国憲法第九条

は、世界史的人類史的な意義を持っています。どのような時代になろうとも、私たちは戦争に反対し、「殺すなかれ」を生きる者でありたいと願います。

\*\*\*  
非核と科学 No.4

# X線とY線の違い

松山奉史

X線もY線も放射線ですが、その違いは何かとよく質問を受けます。今回はX線の話です。

数学では未知数の符合同してXを用います。転じて、正体不明のものをXと表すことがあります。

ドイツのレントゲン

## 日本国憲法第九条

- ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦②争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ②前項の目的を達成するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

はクルックス管(注)という装置を用いて真空放電の研究をしているとき、管の内部からガラス管壁を通して管外部へ未知のものが放射されていることを発見しました(一八九五年)。

正体は不明だったので、これをX線と名づけた。発見のいきさつは、黒紙に包んで装置近くに置いてあった写真乾板が感光していることに気づいたことでした。今では、X線は電磁波の一種(光や電波の仲間)であることが分っています。その波長は、おおまかにいえば、紫外線より短く、線より長い範囲にあります。

X線が発生する理由は、クルックス管内の陰極から飛び出した電

子が陽極に入射し、二種類のクーロン相互作用を行って自身のもつ運動エネルギーを失うからです。相互作用の一つは陽極物質を作っている原子の核(正電荷をもつ)との相互作用、もう一つは核の外側を回っている軌道電子(負荷をもつ)との相互作用です。核との相互作用では、使用した陽極物質に関係なく連続スペクトルのX線が発生し(制動放射)、軌道電子との相互作用では、用いた陽極物質それぞれに固有の特性X線(線スペクトル)が発生します。ここで、レントゲンが行った実験条件の下では、二つの相互作用の前と後で物質原子の状態には何の変化も起きていません。したがってX線は、陽極に入射した電子のもっている運動エネルギーが二つの相互作用を通してX

線に変換されたのだ、と考えることができず。つまり、X線とはもっぱら電子が放射したもののなのです。こうしてX線の正体は判明したのですが、当初名づけられたX線という名は今日でもそのまま使用され続けています。そして放射線としては最初に発見され、しかも人工放射線の最初の例となっています。

(注)クルックス管…クルックス(英)が初めて用いたガラス製真空管内部の真空度は一〇パスカル以下。陰陽二個の電極を内蔵しており、電極間に電圧をかける。陰極側から出た電子が加速されて陽極板に飛び込む。

## 松山先生の研究①

「核的手法によるポリシラン量子材料の半導体物性」(九七〇九九)(「日本の研究」より)



# 自治体を訪 問しました

高石市長と懇談

一〇月四日、非核・平和施策について、高石市と市役所内で懇談会を開催しました。市側から阪口伸六市長はじめ、総務部長、人権推進課長、市長秘書が、当会から 豊島事務局長、常任世話人の岩田



幸雄、松山奉史の両名、寝屋川市被爆者で当会世話人の松山五郎、事務局から牛山、谷本が参加しました。

阪口市長は、広島・長崎の原爆投下や、地元近隣地帯の空襲被災の実相と、平和への探求、核兵器廃絶への決意を力説されました。市長自らが、国民平和大行進団を迎え入れ、行進団の先頭に立って歩き、

原水爆禁止世界大会への参加など、活発な行動にも示されているように、非核・平和への意気込みが、伝わってきました。

市が行っている市民向けの具体的な啓発施策として、小中学校で戦争体験者の語り部による講和会や、七月下旬から八月月上旬にかけて市庁舎ロビーで「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)を開催し、小学六年生から寄せられた平和ハガキや、非核・平和に関する写真、パネルの展示、ビデオ上映などを

実施し、また八月の一月間、市庁舎に「核兵器のない平和な世界をめざそう」の懸垂幕を掲示し、庁舎内にヒバクシャ署名コーナーを設けていることなど、非核・平和施策に注力されている事がわかりました。一時間ほどの懇談会でしたが、当会の要請を快く受け入れて下さった阪口市長、関係職員の方々に感謝申し上げます。

# 新任常任世話人を紹介

府高教・鶴巻重治

来春定年を迎える、現職の生物科教員です。趣味と実益(教科研究)を兼ねて、発展を続ける生物学関係の本を通勤電車の中で読んでいます。今の学校は、人が減らされ、仕事(教育以外の事務仕事など)は増やされ、大変忙しくなっています。会議にほとんど参加できず、申し訳なく思っています。

さて、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が今年のノーベル平和賞を受賞しました。その活動が、核兵器を歴史上初めて違法化した核兵器禁止条約採択に大きく貢献したことが理由です。国際会議での日本のヒバクシャのほたらきも評価された上でのことです。ところが日本政府は平和賞受賞に対して、当初はコメントしませんでした。唯一の戦争被

爆国として、全く恥ずべき態度です。平和賞の前日に発表された、カズオ・イシグロ氏(幼少期に渡英、イギリス国籍取得)のノーベル文学賞受賞に対して、即座に賞賛したことと対照的です。

も人間ですから、私たちと同じ情動を持つていることでしょう。日本が核兵器禁止条約に背を向け、ICANの受賞を冷たく扱っても「恥ずかしい」と思わないのは、彼が日本を本当の意味で愛していない証拠ではないでしょうか。日本とその国民を、自分の意のままに操作してよい対象と考える、つまり独裁者であることを示していると思えます。

## 案内

### 一、非核の政府を求める会近畿交流会

月日 11月18日(土) 午後1時30分～  
場所 大阪市打出浜2-1 コラボしが21  
講演 「核兵器禁止条約採択と今後の展望」  
講師：富田宏治氏(関西学院大学教授)

※滋賀県反核平和連絡会の秋の講演会に参加

なお、二部懇親会は、大阪駅周辺で実施

### 二、ノーモア・ヒバクシャ訴訟

大阪地裁 11月17日、11月20日 傍聴参加を

### 三、ピースおおさか特別展

体験者が見た大阪空襲-空襲体験画が語るもの-  
～12月27日まで開催

朝鮮民主主義人民共和国  
朝鮮労働党委員長  
國務委員長 金正恩 様

# 北朝鮮の核実験に 強く抗議する

【声明】

1. 北朝鮮政府は、9月3日午後12時頃、北朝鮮国営の朝鮮中央テレビによると北朝鮮北東部の地下実験場で6回目となる「ICBMの弾頭部に搭載するため水爆製造の威力のコントロールなどの正確性、信頼性を実証するため」核爆発実験を行なったと発表した。これは、核実験と核開発計画の放棄を求めた一連の国連安保理決議、国際世論を無視し、朝鮮半島非核化共同宣言、日朝平壤宣言、6カ国協議共同声明等の国際公約を真っ向から踏みにじるものである。また7月7日に国連加盟国の圧倒的多数で採択された核兵器禁止条約を求める国際社会の流れにも逆行するものである。核戦争防止・核兵器廃絶、米「核の傘」脱却・非核の日本を求めるわが会は、新たな核拡散に道を開き、アジアと世界の平和と安定を脅かす北朝鮮の今回の挑発行為に対し、厳重に抗議するものである。
2. 「全人類共通の緊急課題として核戦争防止・核兵器廃絶の実現を求める」など非核五項目にもとづく活動をすすめてきた、わが会は、北朝鮮政府が今後いかなる挑発行為も行なわず、すべての核兵器・ミサイル開発計画を放棄すること、また、自らも合意した国際的な平和の枠組み・六か国協議に一刻も早く復帰し、合意を誠実に履行するよう、強く要求する。  
同時に、この問題を解決するにあたって、平和的に外交手段によって解決する立場を堅持して粘り強く交渉にあたるよう、要求する。

以上

2017年9月4日

非核の政府を求める大阪の会

## 戦争の傷あとめぐり第2シリーズ

『大阪 戦争モノ語り～街かどの「戦跡」をたずねて』の著者 森田敏彦先生のガイドで訪れる

「国民を戦争に駆り立てる、戦争に抗う」

# 戦跡ウォーク

第2回

日時：12月2日(土) 午後1時半集合 4時ごろまで

集合場所：大阪歴史博物館南側広場集合(最寄駅は地下鉄谷町四丁目) 解散は大阪城公園噴水前

コース：第8連隊跡碑⇒第37連隊跡碑⇒大村益次郎顕彰碑⇒教育塔⇒大阪偕行社(明治紀年標)跡  
⇒大阪城京橋口⇒中国製の狛犬⇒教育勅語碑⇒第4師団司令部跡⇒鶴彬の川柳碑

参加費：無料。(交通費は各自でお願いします)

「大阪歴史博物館」へは地下鉄谷町線・中央線谷町四丁目駅下車、2番出口から徒歩約5分(最寄改札は北改札口)

9番出口から徒歩約1分(最寄改札は東改札口)

※参加ご希望の方は、資料の準備がありますので、下記まで連絡をお願いします。

非核の会 TEL : 06-6765-3032 FAX : 06-6765-3033 E-mail : hikaku-osaka1986@nifty.com

事務局携帯 : 090-9273-6758 (牛山) 090-6669-7483 (谷本)